

会長挨拶 ～年頭にあたり～

新年明けましておめでとうございます。

皆様方に於かれましては健やかに新年をお迎えになられましたことお慶び申し上げます。

おかげで今年も新しい年を迎えることができました。

当協会は昨年10月に設立一年を過ぎ、今年2年目に入りました。

スタート時28社で有りました協会も、現在はその4倍超の会員数になり、多くの方々に感謝申し上げます。

しかしながら業界の課題は未だ山積みで閉塞感を抱えている事は否めません。

ポスティング業界が10年先、20年先、次の世代まで残っていくために必要なことは、広く社会に認知され受け入れられる事であるという考えは、昨年の活動を通して今年も変わりません。

今年は「管理責任者制度」「安全性評価制度」事業の推進を図ってまいります。

昨年集いで決定をしたグッドポスティングマークを意義あるものにし、安全性評価制度を着実に進め、青年部発足により現場の声を活かし新しい発想を活動に取り込んでまいります。

また、今まで実態が明らかにならなかったポスティング業

の全体統計をとる事で、業界の全体像を明らかにし、名誉顧問の馳前文部科学大臣、小松裕衆議院議員、ならびに経済産業省の方々に引き続きご協力を賜り、日本標準産業分類の広告業にポスティングの文字が一業種として掲載されます事を目指してまいります。

その為に現在ご入会をし、協会の各活動を支えてくださっている会員の方々ならびに協会に興味を持ってくださっている方々の一層のご協力を頂けるよう広く存在意義のある協会にしていけることが私達の使命だと思っております。

ポスティングの確固たる業界確立という私達の夢は、皆様のお力の集結があればこそ実現するものと信じております。まずは目の前の課題に一つ一つ着実に取り組んでまいります。

どうか今年も皆様のご尽力ならびにご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって飛躍の年になるよう祈念致しまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。

会長 白井 正良



新春年賀会を開催

平成29年1月13日（金）京都の「南禅寺 順正」にて全日本ポスティング協会新春年賀会を開催致しました。

全国より総勢70名の会員の皆様にお集まりいただき、京都料理に舌鼓を打ちつつ盛大な年賀会となりました。

ゲストの講師「四代目 玉田玉秀斎」氏による講演会も行われ、落語とも漫談とも違う「講談」に引き入れて新春年賀会を多いに盛り上げて頂きました。

開会にあたり、白井会長より力強い新年の



「四代目 玉田玉秀斎」氏による講演会

挨拶を頂き、名誉顧問 馳浩衆議院議員ならびに顧問 小松裕衆議院議員の両顧問より頂戴した祝辞を読み上げ、森神副会長の乾杯のご発声により新春年賀会は幕を開けました。日本全国よりお集まり頂いた同業者の皆さまとの食事・



歓談を楽しむ中、あっという間にお時間となり、西脇副会長による締め挨拶を頂き閉会となりました。

多くの交流の中、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。

当協会の事業の柱となる「管理責任者制度」ならびに「安全性評価制度」の進捗状況について、1月下旬にインタビューを実施しました。



「管理責任者制度って何？」～中丸事務局長に聞く～

「管理責任者制度」につきまして教本策定メンバーの一人です。有ります中丸事務局長にお話しいただきます。

さっそくですが、協会がこの「管理責任者制度」に取り組まれました経緯をお話いただけますか？

＜中丸＞ 皆様ご存知の様に、協会は非営利団体で業界確立を目指しております。業界のルール作り、並びにポスティングの品質向上を目指しております。

他の業界には色々と国が制度化して行っているものも多く、例えば運輸業界は「運行管理責任者」が義務付けられております。ポスティングを営む企業が集まった協会では、自主規制の基にこの「管理責任者制度」を確立してまいります。

「管理責任者制度」確立までの進捗状況は如何ですか？

＜中丸＞ 昨年この制度を行うための「安全性評価制度委員会」と合同委員会を立ち上げ教本策定に取り組んでまいりました。現在第1章業務編で「ポスティング業務の管理」、第2章「コンプライアンスの徹底」第3章「統計データ並びに各種フォーマット」がほぼ完成して最終校正に入っております。

「お話しした教本が出来上がると次は検定試験ですか？」

＜中丸＞ 教本に基づいた講習会を開催した後に検定試験を考えております。

「その講習会等はいつ頃を予定されていますか？」

＜中丸＞ 第1回目は4月中旬を予定しております。スタートは東京にて協会会員会社の管理職を対象に行う予定です。その後、名阪地区、九州地区、東北地区と開催地区を増やし、受験しやすい運営を考えております。多くの方が管理責任者になっていただくことを切望いたします。

「最後になりますが、この制度を通し業界がどの様になると良いと思われますか？」

＜中丸＞ 多くの管理責任者を中心にポスティング業の品質向上を目指し、配布事故「0」にし、クライアントからも生活者からも望まれる理想のポスティング業界に成長して行けるように事務局として頑張っております。

「ご多用の中、本日はありがとうございました。」

「安全性評価制度って何？」～中川委員長に聞く～

「安全性評価制度が何なのか、よく分からない方もいらっしゃると思われるので、その趣旨を改めてお聞かせいただけますか？」

＜中川＞ 管理責任者制度が個人を対象としているのに対し、法人を対象にしたものが安全性評価制度(GPマーク)で、ポスティングの質の向上と社会的評価を高めていくために、企業としての取り組みを評価して、クライアント様始め消費者や従業員の方々の判断基準になることを目指したものです。

「なるほど。それでは具体的に評価の対象は？」

＜中川＞ 現時点では協議中なので、あくまで中川個人の構想という前提になるのですが、自前の配布スタッフを抱えているポスティング業者がまず基本です。そして業歴や規模などある程度の実績を考慮する方向で検討しています。加えて1人以上のポスティング管理責任者を擁していることがスタートになりますね。

「細かい部分では、どのような項目が評価されるのですか？」

＜中川＞ そうですね。各文書・帳票類の整備状況や管理体制はもちろん、配布業務運用状況、緊急時対応、個人情報の取扱い、

順法姿勢など多岐にわたる見込みで、内部での検証システムや代表者の取り組み方にまで及ぶかな、という感じです。

「評価の判断は誰が担うのですか？」

＜中川＞ 公平性・客観性を保つために、業界関係者だけではなく、有識者、消費者等による審査委員会を組織し、安全性評価委員会がそこに諮問して、答申を得るような流れを検討しています。

「では、制度の運用開始はいつ頃になりそうですか？」

＜中川＞ 管理責任者制度は今年4月に受講者を募集する方向で進んでいるので、実際に資格取得者が誕生し、基本条件を満たす業者がある程度出そろった段階からということになるのではないのでしょうか。個人的には今秋スタート出来れば、と考えています。

「そうですか。出来るだけ早目のスタートに期待しています。本日は、ありがとうございました。」



(社)全日本ポスティング協会認定
事業者番号 00-000000

「九州地区ポスティング業者の集いの会」

昨年11月、「全日本ポスティング協会」の誘いで、協会加盟社も含めて53社に、「第一回全九州ポスティング業界の集いの会」の案内状を送ったところ、沖縄県を除く九州7県のうち3県の会社様18社25名が参加されました。

「全日本ポスティング協会」会員としての、協会の目線で感じましたのは次の点です。

「全日本ポスティング協会」は、全国各県のポスティング業者を会員として参加してもらい、その業者は社会から信頼され消費者、クライアントからも信用されなければならない、ひいては国(政府)から優良業界とのお墨付きをもらえる実績と将来性のある団体であることを目的としている。この観点から、今回の会合全般を改めて振り返りますと、我々の道のりは険しいと感じました。

参加各社の創業時の苦労話(心無い言葉の数々、ハードクレーマーの問題、精度の悪い業者へ初めは依頼せざるを得なかった…)は、現在の我が社の日々の業務の流れの「川底」にも存在する問題であるとも言えました。

従って我が社が加盟する「全日本ポスティング協会」の目的である「広く社会や国に認めて頂ける」ことは、今回の参加者が望んでいる事でもあります。

主業として、または副業としてポスティングをやっている会社、業態も、在宅配布、移動配布、また配布対象も色々と限定する会社など様々な会社が参加していました。

従って、そういう多様な業態の会社すべてを基本的には受け

入れる寛容な協会でなければならぬと思いましたし、また業者各社のそれぞれがレベルを上げ利益増につながる取り組みを自主的に実施し、協会に認められる会社として加盟してほしいと感じました。

懇親会を通し、色々の話の中で協会に「若手の会」を発足させることは大切である、と感じました。酒

の席ですから、経営が難しく一緒に統合してほしいという方もいたようです。これは全日本九州地域の会社として、もっとコミュニケーションをとる必要があり、再度今年の2月か3月に会合を開こうという意見で一致いたしました。協会の信頼度をもっと上げ「政府」に認めてもらうには2つの目で見ることが必要ということです。業界の発展、レベルのさらなる向上のためには、よく言われますように、何事も「複眼的、二つの視座」から、協会の内も外も観なければあるべき協会の姿が立体的に見えてこないし、また協会はいろいろな意見に今以上に素直に対処しなければならないと思います。

記：株式会社毎日メディアサービス



ポスティング業界について話し合う業者
とある。一などの
所を出し合った。基金
を設立し福祉施設に寄
付をする募金活動につ
いても賛同が出た。
ポスティング(大野
城市の山田英明社長
は「情報の共有など、
この会をきっかけに業
界が良い方向に進めは
い」と思う」と話して
いた。(宮野 潤)

「全日本ポスティング協会 忘年会」を開催

去る平成28年12月21日(水)師走の寒気が肌をつきさす東京湾に浮遊する「No.30 マルコポーロ号」の船上にて「全日本ポスティング協会忘年会」を開催いたしました。全国各地から33社、総勢51名のご参加のもと一年間の労をねぎらい互いの親睦を深めることができました。

会は冒頭白井会長の挨拶で始まり、名誉顧問である馳浩前文部科学大臣、顧問である小松裕衆議院議員からの一年間のねぎらいと来る年の更なる飛躍のご期待を込めた手紙が読み上げられました。

森神副会長の力強い乾杯の挨拶の後、歓談に入りました。各々名刺交換をする人、冷たい風に吹かれて船上のデッキで写真を撮る人、船内は外の寒さを吹き飛ばす熱気であふれていました。



最後は新規加入の会員様2社のご紹介、西脇副会長の締めめの挨拶で幕を閉じました。2017年の協会の更なる躍進と各会員様の更なる発展を確信することができた約2時間の船の旅でした。



第2回ポスティングカップ開催のご案内

第1回ポスティングカップは多くの方にご参加頂き、交流親睦の場として大変有意義なコンペとなりました。

第2回は协会会员様も増えて参りましたので、より一層の交流親睦を兼ねてラウンド頂ければ幸いです。

尚、コンペ前日にかんなみスプリングスCC併設の「ホテル函南」にて、交流会を企画しておりますので、多忙とは存じますが、重ねてご参加の程よろしく願いいたします。

交流会日時：平成29年 5月24日(水)

ホテル函南 (かんなみスプリングスCC内)

コンペ日時：平成29年 5月25日(木)

かんなみスプリングスカントリークラブ

静岡県田方郡函南町桑原1300-146

※ 参加申し込み及び詳細に付きましては
事務局からインフォメーション致します。

全日本ポスティング協会全体の売上集計からの 全国ポスティング推計売上

协会会员123社の直近決算時の総売上より現在の全国規模ポスティング売上を推計いたしました。协会会员の「事業概要報告書」に基づき集計いたしました。

添付下の表に有ります様に123社の総売上は331億になり、1社平均2億7千万円になります。

現在協会が保有する全国のポスティング業者の名簿394社をベースにしますと、全国の推計売上は1,000億円と推計されます。

全日本ポスティング協会全体の配布員集計からの 全国ポスティング推計配布員数

协会会员123社に帰属する配布員数より現在の全国規模ポスティングに係る配布員数を推計いたしました。协会会员の「事業概要報告書」に基づき集計いたしました。

添付下の表に有ります様に123社の総配布員数は247人になり、1社平均2人になります。

現在協会が保有する全国のポスティング業者の名簿394社をベースにしますと、全国の配布に従事する配布員数は78,800人程と推計されます。

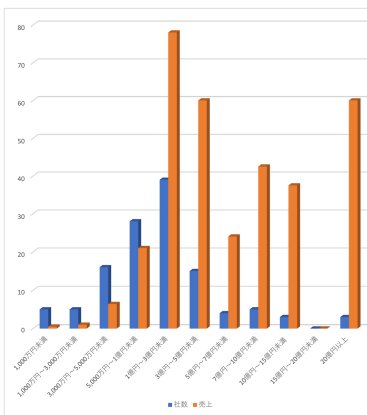
直近の決算売上

NO	直近の決算売上	社数	売上
1	1,000万円未満	5	0.5
2	1,000万円～3,000万円未満	5	1
3	3,000万円～5,000万円未満	16	6.4
4	5,000万円～1億円未満	28	21
5	1億円～3億円未満	39	78
6	3億円～5億円未満	15	60
7	5億円～7億円未満	4	24
8	7億円～10億円未満	5	42.5
9	10億円～15億円未満	3	37.5
10	15億円～20億円未満	0	0
11	20億円以上	3	60

合計331億円
一社平均2.7億円

123社

331億



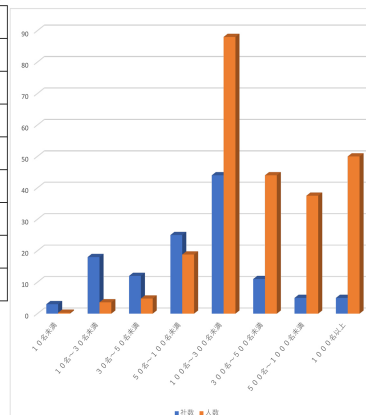
配布スタッフ数

NO	配布スタッフ数	社数	人数
1	10名未満	3	0.3
2	10名～30名未満	18	3.6
3	30名～50名未満	12	4.8
4	50名～100名未満	25	18.8
5	100名～300名未満	44	88
6	300名～500名未満	11	44
7	500名～1000名未満	5	37.5
8	1000名以上	5	50

合計247.00人

123社

247人



編集後記

いつも協会活動にご協力頂きありがとうございます。
波乱の年になりそうな気配ですが、いかがお過ごしでしょうか。

皆様のご協力のもと、この度無事にPOSTIME第2号を発刊することができました。

今年も協会の肝になる案件が盛り沢山です。

総会後の懇親会では、1人でも多くの方と業界の未来を語り合えればと理事・幹事・委員共に思っております。

紙面だけでは、熱さやスピード感はお伝えしきれません。1人でも多くのご参加をお待ちしております。

記：川井 慎太郎

発行

一般社団法人 全日本ポスティング協会

発行責任者：川井 慎太郎
編集：岡田 卓也

〒141-0022
東京都品川区東五反田1-7-11 AIOS 五反田ANNEX 604
☎03-6277-3720 〆03-6277-3760 ✉info@posting.or.jp



一般社団法人 全日本ポスティング協会
ALL JAPAN POSTING ASSOCIATION